












流行状況

疾患名	前週	今週	備考
手足口病	1.3 	1.2 	夏かぜウイルスの飛沫、経口、水疱からの感染。口の中、手や足の先の水疱性発疹
流行性角結膜炎	1.7 	1.3 	眼結膜・角膜の炎症を主症状とするアデノウイルス感染症 (重症例では視力障害を残す)
ヘルパンギーナ	0.9 	0.8 	夏かぜの一つ。咽頭に赤いリングの小水疱と浅い潰瘍
咽頭結膜熱	0.33 	0.20 	発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウイルス感染症
マイコプラズマ肺炎	0.15 	0.38 	マイコプラズマとよばれる病原体による空咳と胸痛が特徴的な肺炎 3 定点からコメントでの患者発生報告あり

定点当たり報告数	定点当たり報告数	定点当たり報告数
 横ばい	 増加	 減少

感染症についての説明及びグラフ総覧については、
愛知県衛生研究所のホームページをご覧ください。
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>)

トピックス

「重症急性呼吸器症候群(SARS)」関連情報(第 18 報)

【平成 15 年 9 月 3 日現在】

現在の状況

7 月 5 日に SARS の“伝搬の連鎖終息”宣言を発表した WHO は、8 月 15 日、2002 年 11 月 1 日 ~ 2003 年 8 月 7 日の期間に世界中の国と地域(32 の国及び地域)から WHO へ報告された国(及び地域)別の SARS 報告数の一覧(表)を発表しました。それによると、患者の累積報告数は 8,422 名、死亡者数は 916 名(死亡率 11%: 直接死因とは無関係に算出)、医療従事者の感染者数は 1,725 名(20%)となっています。下記に、主要各国の報告を表で示します(主な項目のみ)。我が国では 6 月 20 日現在 68 例(「疑い例」(52 例)、「可能性例」(16 例))が厚生労働省より報告されていましたが、全例が専門家委員会によって否定されました。その後は、「疑い例」、「可能性例」とも報告されていません。

主要各国におけるSARS報告数一覧(2002年11月1日～2003年8月7日)

(8月15日 WHO公表)

地域	累積報告数	入院中の患者数	回復者数	死亡者数	致死率(%)	医療従事者の感染者数(%)
中国本土	5,327	29	4,949	349	7	1,002(19)
香港	1,755	7	1,448	300	17	386(22)
台湾	665	10	475	180	27	86(13)
カナダ	251	10	200	41	17	108(43)
シンガポール	238	0	205	33	14	97(41)
ベトナム	63	0	58	5	8	36(57)
米国	33	7	26	0	0	1(3)
フィリピン	14	0	12	2	14	4(29)
報告のあった国の全合計	8,422	64	7,442	916	11	1,725(20)

集団発生終息後の段階におけるSARSのアラート(警報)、検証、公衆衛生管理

(8月14日 WHO発表の概要)

WHOは8月14日、集団発生終息後の段階において、SARSの再発生に対する警戒を緩めることなく、再流行が起こった場合に迅速に対応するためのSARSアラート(警報)、SARSの確定診断、それに、公衆衛生上のSARS取り扱いに関する文書を発表しました。

SARSアラート(警報)

このSARSアラートとは、非定型肺炎や呼吸窮迫症候群(RDS)の原因としてSARSが否定されるまでの間においても、SARS感染拡大予防対策として適切な感染防御策及び公衆衛生対策が確実に実施できるようにするための運用上の定義であるとされています。そして、その目的として、1) 早期にSARS再興の可能性を警告するために、適切な感染防御措置の迅速な実施、速やかな診断、公衆衛生対策の開始を実施するとしています。そして、2) 必要に応じて世界的規模での警報を発するとしています。

1 SARSアラートの定義

10日間のうちに、

- 1) 2人以上の同一の医療機関で働く医療従事者がSARSの【臨床的症例定義】を満たす疾患を発症するか、
- 2) 3人以上の人(医療従事者、その他の病院職員、患者、来訪者)が同一の医療機関内で感染し、以下に示すSARSの【臨床的症例定義】を満たす場合

2 症例定義

WHOがSARSアラートの定義の基準として定めたもので、我が国の厚生労働省が7月14日出した【患者】【疑似患者】定義とは異なります。

< SARSの臨床的症例定義 >

この【臨床的症例定義】は迅速に公衆衛生対策を実施することを目的として設定された定義であるために、この定義には、時間的観点及びその信頼性の問題から、SARSコロナウイルスの検査室診断結果は含まれていません。

次の条件を満たす者：

発熱(38)

かつ、

1つ以上の下気道症状(咳、呼吸困難、息切れ)

かつ、

肺炎またはRDSの肺浸潤影を示す放射線学的所見、

或いは、
剖検上、同定不能な肺炎又は RDS の病理所見
かつ、
SARS 以外の診断では病態を完全には説明不可能な場合

< SARS の実験室診断による症例定義 >

我が国の厚生労働省が7月14日に出した〔患者〕定義に似ていますが各検査における陽性判断の基準を厳格かつ明確に定めています。本定義により、以下の条件で SARS と確認された場合、国際報告がなされることとなります。

臨床的に SARS であることを示す症状・兆候を呈し、
かつ、

以下の診断基準に基づき、SARS - CoV に対する検査法 a) ~ c) のうち、1つ以上で陽性所見を示す者。

a) SARS - CoV に対する PCR 法検査陽性

以下の条件で、公認された PCR 法による検査陽性

最低2つの異なる臨床検体 (例: 鼻咽頭拭い液と糞便)、

或いは、

同じ種類の検体で、臨床経過中に2回以上の時期に採取された検体 (例: 経時的に採取された鼻咽頭吸引液)、

或いは、

2つの異なるアッセイ系、或いは、検査機会毎に原検体から新たに抽出した RNA を用いた PCR 法による反復検査

b) ELISA (酵素免疫吸着法)、或いは、IFA (間接蛍光抗体法) における血清抗体出現の確認 平行検査において、急性期血清抗体陰性かつ回復期血清抗体陽性

または、

回復期血清抗体価の急性期血清抗体価の4倍以上の上昇

c) ウイルス分離

検体の種類に関係なく細胞培養法によって SARS - CoV が分離され、

かつ、

上記 a) による PCR 法陽性の場合

以上の検査は、WHO が既に推奨しているように国立 (国立感染症研究所) 又は地域リファレンスラボ (我が国の場合は、厚生労働省からの事務連絡により、地方衛生研究所が該当) だけで実施されるべきである。

【参 考】

愛知県健康福祉部健康対策課のホームページ

(<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/sars/index.html>)

重症急性呼吸器症候群の検査法については衛生研究所のホームページ

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/sars.html> 及び

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/sars_kensa.pdf)

WHO (<http://www.who.int/en/>)

「Severe Acute Respiratory Syndrome (SARS)」(<http://www.who.int/csr/sars/en/>)

厚生労働省 (<http://www.mhlw.go.jp/index.html>)

東南アジア等で流行している「重症急性呼吸器症候群」関連情報

(<http://www.mhlw.go.jp/topics/2003/03/tp0318-1.html>) 及び

伝播確認地域 (<http://www.mhlw.go.jp/topics/2003/03/tp0318-1e.html>)

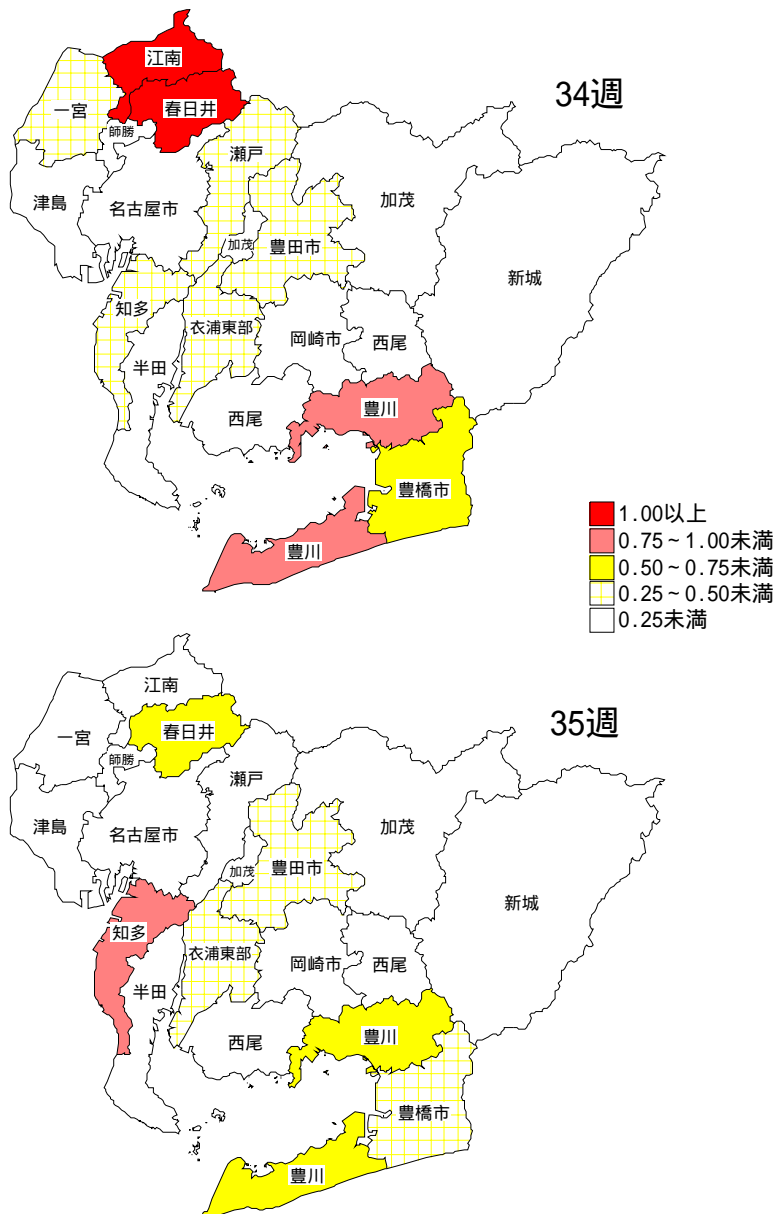
感染症情報センター (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

「今冬の SARS」及び「トピックス」

(<http://idsc.nih.go.jp/others/urgent/sars03w/home.html>) 及び

(<http://idsc.nih.go.jp/others/urgent/update.html>)

咽頭結膜熱の保健所別報告数の推移(名古屋市含む)



	35週	定点 当たり	34週	定点 当たり		35週	定点 当たり	34週	定点 当たり
名古屋市	7	0.10	14	0.20	岡崎市	0	0.00	0	0.00
瀬戸	2	0.22	3	0.33	衣浦東部	5	0.45	5	0.45
津島	0	0.00	0	0.00	西尾	0	0.00	1	0.20
師勝	0	0.00	0	0.00	豊田市	3	0.38	3	0.38
一宮	1	0.08	4	0.33	加茂	0	0.00	0	0.00
春日井	5	0.56	11	1.22	豊橋市	2	0.25	5	0.63
江南	1	0.17	6	1.00	豊川	5	0.63	6	0.75
半田	0	0.00	0	0.00	新城	0	0.00	0	0.00
知多	6	0.86	2	0.29					

は今週警報が発生している保健所です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによる咽頭結膜熱の流行発生警報は保健所(市)定点当たり1.0人を越えた場合に発生し、0.1人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

病原性大腸菌 O1 3 歳男、25 歳女

病原性大腸菌 O6 5 歳女

病原性大腸菌 O18 2 歳男

病原性大腸菌 O25 2 歳男

病原性大腸菌 O55 6 歳男

アデノウイルス、エンテロウイルスともに減少傾向は見せておりません。

【尾西市 城後小児科】

5 歳女 カンピロバクター腸炎

【一宮市 平谷小児科】

手足口病がつづいています。

百日咳が 1 例ありました。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

36 歳女 マイコプラズマ肺炎

【春日町 丹羽医院】

尾張東部地区

特別な感染症ありません。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

ヘルパンギーナが再び増加しました。（特定の保育園での流行がありました。）

マイコプラズマ肺炎が今週も多くみられています。（家族内感染もありました。）

その他流行性耳下腺炎、伝染性紅斑、水痘等散発的流行あり。

【尾張旭市 医療法人誠和会 佐伯小児科医院】

6 歳男 病原性大腸菌 O111 感染症 VT1（-）、VT2（-）

【尾張旭市 旭労災病院】

水痘、ヘルパンギーナ少々のみ

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

ヘルパンギーナ 1 名（3 歳男）のみでした。

【春日井市 かちがわ北病院】

細菌性腸炎（サルモネラ）増加

夏かぜ（ヘルパンギーナ）少人数

【小牧市 小牧市民病院】

サルモネラ O4 2 例、O9 1 例

カンピロバクター 3 例

【小牧市 志水こどもクリニック】

マイコプラズマ肺炎 12 歳女

【南知多町 医療法人大岩医院】

アデノ咽頭炎 6歳男

【東海市 東海市民病院】

手足口病がまたやや増加
家族での伝染性紅斑罹患例あり。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

3歳男 アデノウイルス イムノカード* (+)

1歳女 病原性大腸菌O1

2歳女 イムノカードS Tアデノ* (+)

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

* イムノカードS Tアデノウイルス：アデノウイルス抗原検出用キット

5歳男 サルモネラO4腸炎

6歳、3歳、4歳女、5歳男 マイコプラズマ感染症

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

0歳男 病原性大腸菌O1 V T (-)

【岡崎市 医療法人深田小児科】

3歳女 病原性大腸菌O128 V T (-)

1歳女 病原性大腸菌O18 V T (-)

1歳男 カンピロバクター

4歳男 病原性大腸菌O166 V T (-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

14歳男 カンピロバクター

4歳男 病原性大腸菌O143

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

アデノウイルス感染症4名、そのうち3名は家族

【知立市 宮谷クリニック】

4歳女 サルモネラ腸炎O9

【西尾市 山岸クリニック】

6歳男 カンピロバクター、病原性大腸菌O1 V T (-)

6歳女 サルモネラO9、病原性大腸菌O1 V T (-)

10歳男 病原性大腸菌O1 V T (-)

【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

4歳男 カンピロバクター

3歳女 サルモネラO4

1歳男 サルモネラO9

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

1～3類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

腸管出血性大腸菌感染症

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	菌型等	備考
1	瀬戸	55	女	8 / 18	8 / 19	8 / 26	O 157 VT1(+) VT2(+)	
2	瀬戸	33	女		8 / 20	8 / 25	O 157 VT2(+)	
3	瀬戸	1	女	8 / 17	8 / 18	8 / 28	O 26 VT1(+) VT2(-)	
4	西尾	3	女	8 / 20	8 / 25	8 / 28	O 157 VT1(+) VT2(+)	
5	西尾	1	女		8 / 27	8 / 29	O 157 VT1(+) VT2(+)	
6	西尾	44	女		8 / 29	8 / 29	O 157 VT1(+) VT2(+)	
*	西尾	25	女		9 / 2	9 / 2	O 157 VT1(+) VT2(+)	36週 報告分

4～6及び*の症例は家族内感染

全数把握の4類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

発生報告無し

第33週(15年8月11日~8月17日)の4類感染症 (全国)

小児科定点報告疾患

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後は減少し続けているが、過去10年間の当該週と比較して第16週以降最高の値となっている。都道府県別では大分県(1.9)、岐阜県(1.5)、長野県(1.4)、佐賀県(1.4)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後は減少し続けているが、過去10年間の当該週と比較して前週、今週と最高の値となっている。都道府県別では青森県(7.5)、愛媛県(6.3)、新潟県(5.3)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後は減少し続けている。都道府県別では愛媛県(5.1)、秋田県(4.7)、新潟県(4.2)、長野県(4.2)が多い。

基幹定点報告疾患

無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は第29週でピークを迎えた後、ほぼ横ばいであったが、今週は減少して0.12で、都道府県別では鳥取県(1.0)、滋賀県(0.9)が多い。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で減少して0.17となり、昨年、一昨年の当該週とほぼ同値となっている。都道府県別では大阪府(1.1)、岡山県(1.0)が多い。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - 感染症情報室提供)

詳細は感染症情報センター - のホームページ (<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

愛知県感染症情報

2003年第1週～第35週(平成14年12月30日～平成15年8月31日)(累計)

愛知県衛生研究所

		定点数																										
愛知県		インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎*	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹	
愛知県 (名古屋市を含む)		##	##	35	51	13	47,885	1,284	6,812	26,472	11,291	9,741	1,445	4,551	52	52	5,974	143	4,086	30	918	1	5	10	137	0	4	
総数 (名古屋市は除く)		##	##	24	37	12	38,580	935	4,932	18,150	9,055	8,316	1,163	3,653	41	32	4,282	109	3,261	25	651	1	5	9	133	0	4	
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1	9,305	349	1,880	8,322	2,236	1,425	282	898	11	20	1,692	34	825	5	267			1	4			
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	2,755	65	792	1,112	421	181	30	213	4	1	465	6	378	1	36							
海部津島	津島	7	7	2	2	1	1,341	46	89	1,298	495	863	67	173	1		227	2	139	1	27				11			
尾張中部	師勝	4	4	1	1		1,378	10	120	1,091	141	165	20	89		5	376	1	133		12							
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	2,712	35	364	2,278	733	775	124	418	6	1	304	2	224	1	25			1				
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	4,291	91	383	1,205	606	694	171	307	3	4	430	7	286	1	64	1	2	2			1	
	江南	6	6	1	2		1,520	45	299	1,694	532	689	87	267	2	1	191		100		43							
知多半島	半田	6	6	1	2	1	1,915	17	175	671	211	119	36	204		1	150	1	202		13		1		10		2	
	知多	7	7	2	2		2,364	107	447	1,203	615	340	65	257	1	1	317	28	103	2	30							
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1	4,159	30	303	211	916	530	137	441	7		309	1	499	3	69							
	衣浦東部	11	11	2	4	1	5,878	66	398	1,180	1,113	852	107	334	4	1	352	13	597		83			2	10			
	西尾	5	5	1	2	1	1,190	14	223	638	426	308	80	146	1	2	129	10	150		48			2	7		1	
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	2,409	79	235	1,171	811	386	63	229	9	11	316	9	246	7	92			2	33			
	加茂	3	3		1		489	15	201	406	140	144	9	45		3	76		43									
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1	3,088	215	574	2,457	824	1,108	93	300	1		314	19	38	7	62		2		30			
	豊川	9	8	1	2	1	2,839	100	327	1,535	1,019	1,118	74	211	2	1	324	7	101	2	47				32			
東三河北部	新城	2	2			1	252		2		52	44		19			2	3	22									

* 衣浦東部保健所(29～31週分)、西尾保健所(34週分)の追加報告あり

愛知県感染症情報

2003年第1週～第35週(平成14年12月30日～平成15年8月31日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎*	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹	
計	38,580	935	4,932	18,150	9,055	8,316	1,163	3,653	41	32	4,282	109	3,261	25	651	1	5	9	133	0	4	
～6ヶ月	518	5	11	208	234	69	7	305	6		63	2	2		2							
～12ヶ月	1,096	31	25	1,151	551	400	41	2,220	10	2	397	23	19		12							
0歳																	1		1			
1歳	3,227	149	121	2,799	1,622	1,510	63	1,041	8	4	1,061	24	154		19				12			
2歳	3,245	147	282	2,075	1,531	1,459	99	70	3	2	807	7	249	1	17				13			
3歳	3,321	151	615	2,044	1,680	1,583	128	7	3	1	766	6	504	2	19				12			
4歳	3,516	134	924	1,800	1,595	1,386	164	1	4	3	507	7	647		11				10			
5歳	2,262	124	934	1,403	973	916	182	1	2	5	354	3	637	1	17							
6歳	1,825	63	712	1,033	402	429	162	4			140	7	385		3							
7歳	1,466	45	409	810	161	192	96		1	4	66	2	220		6							
8歳	1,304	34	286	651	107	123	90	3	1	3	30	3	151	1	7							
9歳	1,336	14	160	509	58	59	39			1	33	2	85		5							
5歳～9歳																		2	31			
10歳～14歳	4,859	14	220	1,170	89	82	67	1	2	3	26	16	130	1	25				21			
15歳～19歳	1,573	3	20	315	8	7	1				7	3	12		28			1	4			
20歳～		21	213	2,182	44	101	24		1	4	25	4	66			1	4					
20歳～29歳	2,768													9	109			3	9			2
30歳～39歳	3,054													1	132			1	8			1
40歳～49歳	1,182													2	65			2	5			1
50歳～59歳	892													3	87				1			
60歳～69歳	597													1	49				2			
70歳～														3	38							
70歳～79歳	352																		3			
80歳以上	187																		1			

* 衣浦東部保健所(29～31週分)、西尾保健所(34週分)の追加報告あり